

10月上旬から12月上旬にかけて、文献探索ガイダンスを実施しました。期間中、24クラス計308名のみなさんにご参加をいただきました。ありがとうございました！今回は「本の読み方のコツ（Fコース）」について、紹介したいと思います。

Fコースは、90分間で、次の内容について学ぶプログラムとなっています。

- 1) テーマを決めてOPACで蔵書検索する
- 2) 図書館で本を探す方法を復習する
- 3) 点検読書の方法を知る
- 4) 本の要点を伝える（プレゼンテーション）

各自が自分の好きなテーマで本を探す内容ですが、なかなか「自分の好きなテーマ」を決めることが難しいようで、みなさん、本を検索するところで苦戦している様子です。

このコースを選択される場合は、予め、先生から「自分の関心のあるテーマ」について考えて、キーワードを準備しておくよう伝えていただくことで、そのあとの課題を効果的に進めることができるように感じます。

図書館ホールに戻ってからは授業のなかで紹介する点検読書の方法に沿って本の要点を読み取り、全員が自分の選んだ本について発表します。短い時間しかありませんが、発表まで上手に完成させている姿に、いつも感心しています。

（\*2023年秋の実施内容です。図書館が行うガイダンスは、Fコース以外にも、文献探索ガイダンスをはじめとする6つのコースがあります。詳しくはMomolib News第1号よりご確認ください。なお、来年度のプログラムは、現在検討中です。今後、変更になる可能性があります。）



## レファレンスの受付時間を延長してご利用をお待ちしています

12月18日から1月29日までの期間、レファレンスの受付時間を18時まで延長しています。（土曜日を除く開館日が対象です。）

資料の探し方やレポートの作成で困ったことがあれば、ぜひ、図書館のメインカウンターまたはレファレンスカウンターでご相談ください。探している本や文献が見つからないときも、どうぞ、お気軽に。「こんなこと聞いてもいいのかな？」といった遠慮は不要ですよ！

レファレンスカウンターでの相談の様子を紹介します。

まず、ご自分が探している資料や文献、調査の内容をカウンターで伝えてください。今回は、アメリカの法律に関する内容のご相談でしたので、図書館が所蔵するデータベースから「Lexis（レクシス）」を紹介しました。



Lexisは米国法を中心とした判例・法令・法律雑誌などのリーガル情報、ニュース・企業情報をはじめとするビジネス情報を収録したデータベースです。

各国で発行されている新聞記事を検索することもできます。データベースへのアクセスは、[こちら](#)

操作は少し難しいですが、詳しいマニュアルが用意されています。また、困ったときに日本語で相談ができるサポートデスク（メールor電話）もあります。（各種連絡先は、マニュアルの巻末に掲載されています。）

今回、レファレンスカウンターでLexisの説明を受け、実際に利用してみたらいたYさんの感想です。「学内でアメリカの法律や判例を気軽に読むことができるので、研究の幅が広がるように感じました。アメリカ以外の国についても最新の新聞記事から情報を得ることができ、卒業論文を書く際にとっても役立つものだと感じました。」

みなさんも、文献探しでお困りの際は、レファレンスカウンターでご相談ください。

## こちらにも要チェックです

図書館のWebサイトでは「卒論・修論・博論・レポート執筆応援」として、図書館で行っている各種サービスを紹介しています。図書館の各種サービスをご活用ください。

<https://www.andrew.ac.jp/library/news/geatcs0000004rh6.html>

春学期・秋学期ともに期末の時期には、入館ゲートを入った場所に「レポート・論文対策コーナー」を設けています。論文やレポートの書き方に関する本を集めて展示していますので、こちらも参考にしてみてくださいね。

図書館にクリスマス飾りがたくさんあります。見に来てネ！



## 第17回 桃山学院大学図書館書評賞

12月13日に書評賞の表彰式が行われました。奥野さん、北中さん、おめでとうございます！

**佳作 奥野 千春 社会学部3年次生**

『ケーキの切れない非行少年たち』宮口幸治著／新潮社(2019年)

**佳作 北中 颯 社会学部3年次生**

『放送の自由：その公共性を問う』川端和治著／岩波書店(2019年)

※最優秀書評賞 該当作品なし

※優秀書評賞 該当作品なし



## 企画展示「たんからふる～色とりどり短歌とりどり～」について

社会学部松澤ゼミの学生が、毎年、図書館で企画展示を行っています。

今年は「たんからふる」と銘打って、みなさんを短歌で表現される色の世界へといざなう内容でした。ご覧いただけましたでしょうか？

企画から、本を選び、実際に図書館内で展示台に本を飾ってポップ（紹介文）と一緒に展示するところまで、先生の指導の下、学生が手作りで完成させます。

図書館は課題解決型学習の場として活用していただくことも可能です。「図書館で、こんなことできないかな？」、「図書館と一緒に、こんなことをしてみたいけれど・・・」といったご要望がございましたら、ぜひ一度、図書館までご相談ください。

